

学生の慶應義塾診療所および 外部医療機関の受診状況

—1995年から2010年の推移—

齊藤 郁夫* 河邊 博史* 辻岡三南子*

保健管理センターと連携する診療部門として、大学生、大学院生が病気になった時に、簡単に受診できるように慶應義塾診療所が1990年から日吉、三田、湘南藤沢キャンパスに設置されており、2010年には矢上キャンパスにも設置された。慶應義塾（塾内）診療所に受診した場合は慶應義塾大学学生健康保険互助組合健康保険（学生健保）を利用するため、家庭の健康保険は利用できず、学生は診療費の5割を自己負担する。外部医療機関を受診した場合は家庭の健康保険を利用し診療費は3割負担になるが、1000円以上の自己負担は学生健保から支払われる。近年、社会経済状態の変化があるが、学生の塾内および外部医療機関の受診状況の推移を検討した。

対象と方法

毎年作成されている慶應義塾大学保健管理センター年報¹⁾から1995年度から2010年度までの年間の塾内診療所受診数、慶應義塾大学学生健康保険互助組合業務報告書²⁾から、1995年度から2009年度までの塾内あるいは外部医療機関の受診状況を、上気道・呼吸器系、消化器系、精神科系の疾患について抽出した。

成 績

1. 塾内診療所への学生の年間のべ受診数(表1)

1995年度、1996年度は6,000人前後であったが、2000年度以後には約1,000人減少し4,600人前後となり、2010年にはさらに減少し、約3,300人となった。

表1 年度別の塾内診療所への学生の年間受診数

	日吉	三田	湘南藤沢	合計
1995	2,768	1,444	1,544	5,756
1996	3,379	1,680	1,607	6,666
2000	2,307	1,244	1,086	4,637
2005	2,232	1,655	828	4,715
2009	2,620	1,257	739	4,616
2010	1,707	1,123	508	3,338

日吉には矢上キャンパスの学生分を含む

* 慶應義塾大学保健管理センター

2. 塾内あるいは外部医療機関への疾患別受診状況

1) 上気道・呼吸器系疾患 (図1)

1995年度, 1996年度では外部, 塾内受診がほぼ同等で約2,000人であった。外部受診は2005年度には減少したが, 2009年度にはインフルエンザ流行のためか増加した。一方, 塾内は減少し, 2009年にはインフルエンザの疑いのあるものはすべて外部へ紹介したため, さらに減少した。

2) 消化器系疾患 (図2)

外部受診が塾内受診より多く, いずれも減少傾向にあった。

3) 精神科系 (図3)

外部受診が塾内受診より多いが, 2005年度には外部と塾内受診が同等となった。2009年度には外部受診が増加し, 塾内受診を大きく上回った。

考 察

塾内受診の代表的疾患についてまとめたが, 塾内への受診数は減少傾向であった。休診の日数について年度では大きな差はなく, 診療日数が原因とは考えにくい。“かぜ”に代表される上気道・呼吸器疾患は外部では2,000人前後で変わりはないが, 塾内は減少していた。“かぜ”の塾内での自己負担はほとんどが1,000円以下で, 自己負担の塾内, 外部の差が原因とは考えにくい。2009年度については大流行したインフルエンザ³⁾の確定診断, 治療を塾内で行っていないことも関係しているかもしれない。

胃腸炎に代表される消化器疾患は外部, 塾内とも減少しているが, 原因は不明である。

精神科疾患は外部, 塾内とも増加している。2002年には塾内に2名の精神科専門医が専任となり, 診療体制が充実したことと関係している可能性がある。

総 括

1. 学生の過去15年の塾内および外部医療機関の受診状況をまとめた。
2. 塾内診療所の受診数は精神科疾患を除き減少した。
3. 外部医療機関の受診数は上気道・呼吸器疾患が横ばい, 精神科疾患は増加した。

文 献

- 1) 慶應義塾大学保健管理センター年報1995, 1996, 2000, 2005, 2009, 2010, 慶應義塾大学保健管理センター
- 2) 慶應義塾大学学生健康保険互助組合業務報告書平成7年度, 8年度, 12年度, 17年度, 21年度, 慶應義塾大学学生健康保険互助組合
- 3) 田中由紀子, 他: 大学における感染症 WEB 報告システムを利用した感染症管理. CAMPUS HEALTH 48 (2): 43-48, 2011

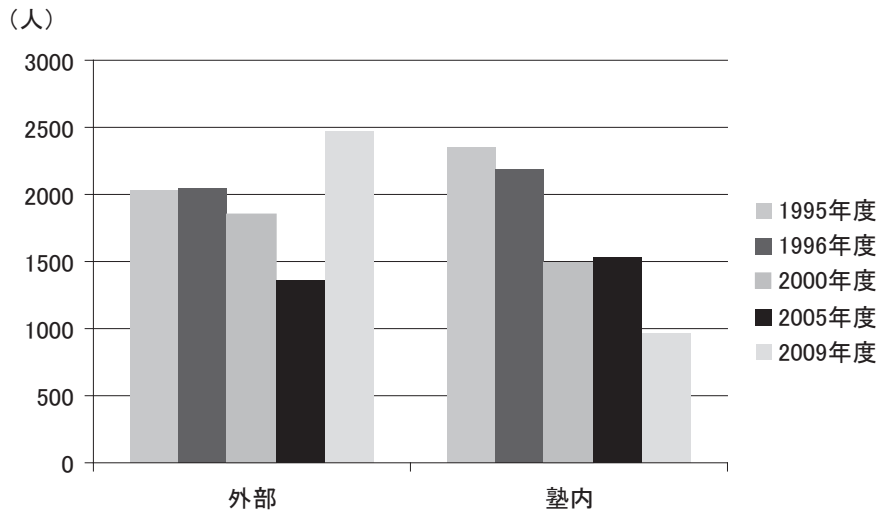


図1 上気道・呼吸器系疾患による学生の年間のべ受診数

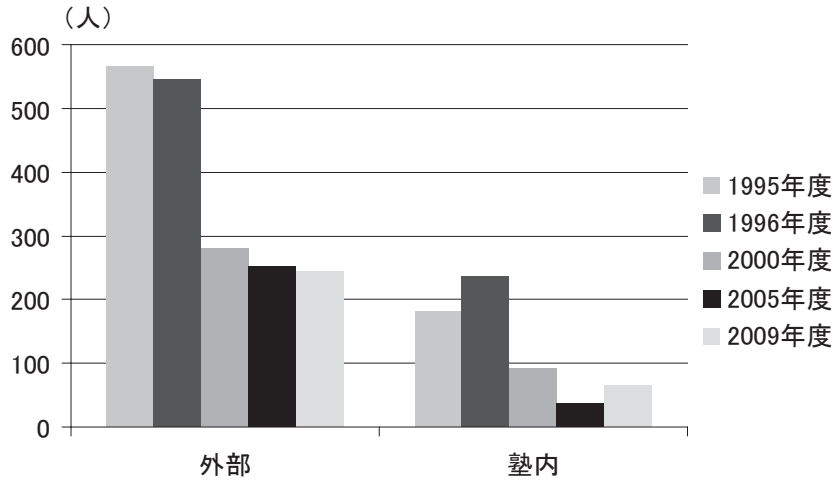


図2 消化器系疾患による学生の年間のべ受診数

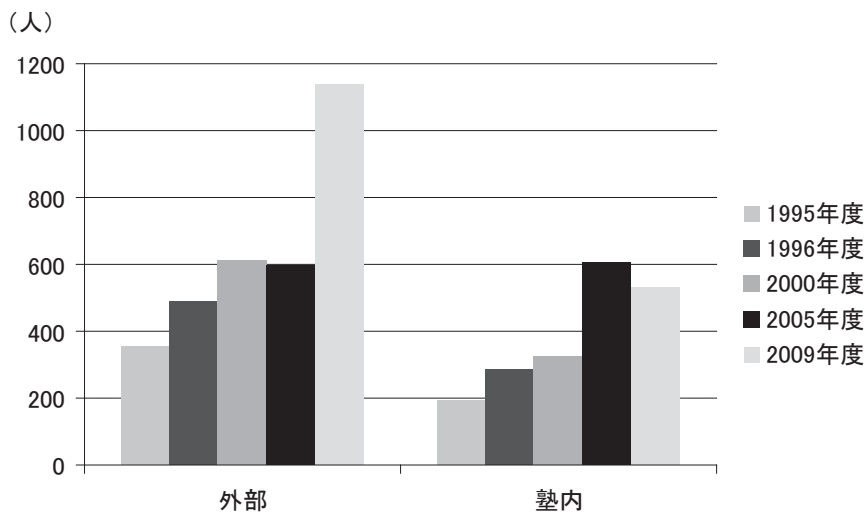


図3 精神科疾患による学生の年間のべ受診数